

パソコン通信 VS インターネット

インターネットとパソコン通信に本質的な違いはあるのだろうか？ここではそれぞれのエキスパートに、インターネット派（IP派）とパソコン通信派（BBS派）に分かれ、それぞれの特徴を明確にすべく対決していただいた。

なお、これはディベートであり、本人の主義主張とは無関係であることをお断りしておく。

パソコン通信肯定派の主張

司会：では、パソコン通信派の主張をお聞かせください。



パソコン通信派

パソコン通信派・・・

[役割] 複数の商用BBSのIDを持ち、ネットワークの大海を縦横無尽に泳ぎまわる。メールの処理だけでも大変。アフター5から就寝まで、食事の時間も自動運転でモデムを繋ぎっぱなし。エンゲル係数よりも通信係数の方が大きい。

BBS派：自分の努力が最小限ですむのがパソコン通信の最も大きな利点です。通信ソフトなどが揃えば、相手が提供している豊富なサービスを利用できます。

司会：だれでも使えることは大切なことですな。

BBS派：サービスを改善してもらうにも、どこに言えばいいのかわかりしています。そして最低のコスト負担で、それを越えるメリットを受けられるのがパソコン通信です。たいてい情報が得られることも、ユーザーにとってありがたいことなんです。

司会：幅広い品揃えのデパートのような感じですね。

BBS派：それに支払い関係の明確さもパソコン通信ならではの。契約の上で成り立っている点も、サポートがしっかりしている点も、初心者にとっては助かります。ここは、インターネットには難しいところでしょう。

インターネット肯定派の主張

司会：ではインターネット派の主張をお聞かせください。

IP派：使う人たちが使う人のために作ってきたという点がインターネットのいいところです。

司会：パソコン通信に乗り換えられない理由は何かありますか？

IP派：パソコン通信で新しいサービスをユーザーが作るのは非常に困難です。その点インターネットは、新しいものを作ることも簡単にできるんです。

司会：では具体的にパソコン通信との違いはどこなんでしょうか？

IP派：パソコン通信のイメージは、どこかへ行って仕事をする感じ。インターネットはふだん仕事をしている環境の延長線上に存在している感じだと思います。

インターネットは草の根BBSと同じか

BBS派：インターネットは、ゲストで入る草の根ネットと同じように感じます。根本的にインターネットには何も革新的なところはなくて、電話線の代わりに専用線、通信ソフトの代わりにtelnet、電話番号の代わりにIPアドレスですよ。

IP派：メール/TELNET/NetNewsというように個々のサービスは似ているかもしれませんが、こうしたサービスがサイト間で共通化されているのがインターネットなのです。

BBS派：草の根ネットが専用のソフトとホストを用意すれば、インターネットのような環境をパソコン通信で提供することはできますよ。

IP派：自分でどこまで手を加えられるかという点が大きく違います。パソコン通信が手を付けられない網の部分まで含めてサービスを考えたことが大きいのです。

BBS派：もしお金になることなら、有料でパソコン通信も似たようなことを考えるように思えますね。

IP派：便利になるのはわかっているけど、パソコン通信全体でサービスの共通化を図れるでしょうか。NIFTY-ServeとPC-VANではホストが異なります。まず不可能でしょう。

BBS派：するとインターネットがパソコン通信に対して優位なのは、ホスト間のリレーションを統合するサービスができるということ尽きるんでしょうか。

IP派：それと、積極的にそうした仕組みに変えていけるかどうかです。

イニシャルコストが高いインターネット

BBS派：アクセスのしやすさや使いやすさという面で、インターネットはパソコン通信に遅れをとっていますね。

IP派：まあパソコン通信の初期にも同じことが言えたんじゃないですか。

BBS派：UNIXや専用線が必要だったり、使いこなすための知識も半端じゃないと思いますけどねえ。

IP派：少なくともUNIXの知識は不要になりました。接続も数多くのプロバイダーが存在し、CameleonやLANWorkPlaceのように、PPPをサポートするやさしいソフトも登場してきました。

BBS派：確かにパッケージソフトは増えていますね。

IP派：新しい技術を吸収するインターネットだからこそ、GUI環境で利用できるMosaicなどが普及してきたんです。これをパソコン通信が実現することは非常に困難でしょう。

BBS派：いえパソコン通信でも、VRの技術を導入したNIFTYのHabitatがあります。またPeopleといったGUIベースのパソコン通信サービスも登場してきました。

IP派：HabitatにしてもPeopleも、それぞれのホストが単独で実現しただけです

よ。HabitatをPC-VANから利用できませんし、Peopleも同じことです。この点がMosaicなどと根本的に異なります。

BBS派：そうしたGUI環境が早くからインターネットで実現できたのも、贅沢な高速回線が利用できたからではないでしょうか。

IP派：通信速度でいえば、インターネットの始まりは56Kbpsでした。でも、高速通信を前提にしたサービスや実験的なことばかりしてきたわけではありません。常に新しい技術を吸収するというチャレンジ精神が、ここまでインターネットを育ててきたのです。

BBS派：今までは比較的金を無視したところにインターネットはありました。普及するとコマースベースの情報提供が増えてきます。当然、専門家ばかりではなくなるので、チャレンジスピリットは落ちるんじゃないですか。

IP派：まあ10年くらいはなくなるんですよ。ずるい言い方ですが、開発者が新しい技術を作り出すと、それを金儲けの対象にするなんてこともあるでしょう。

個々のサービス内容を比較

電子メールサービス

IP派：パソコン通信で電子メールが交換できるといっても、BBSの中だけで完結しています。名刺にいくつものパソコン通信のIDを書くのはばかげたことではないでしょうか。

BBS派：1つのIDですむ点はすばらしいですね。今後はますますパソコン通信とインターネットがゲートウェイで接続されるでしょう。

IP派：今後ますます増えますよ。

BBS派：ともあれ、パソコン通信でもインターネットとの電子メール交換が話題

になってきたのは事実ですね。

IP派：パソコン通信とのメール交換は、最初の頃は怖かったですよ。いったいどうなるかって…。今はパソコン通信とインターネットの間でのメール交換も頻繁に利用されるようになりました。

BBS派：インターネットでは、一般的なバイナリファイルをやりとりできないのは問題ですね。

IP派：uuencodeなら可能です。

BBS派：それは一部の話でしょう。

IP派：バイナリファイルの転送に関しては、確かにサイトによってすべてOKとは言えません。一方でMIMEなどを多くの



インターネット派

インターネット派・・・

[役柄] 早くからインターネットに注目し、国内でのネットワークづくりに東奔西走。現在はインターネットの活用方法をさまざまな角度から研究中。商用パソコン通信も積極的に利用しているマルチなインターネットアナリスト。

サイトが実験しているのも事実です。早晚、マルチメディアメールのやりとりも可能になると思います。そのときはメールもパソコン通信より、はるかに自由度が高くなりますよ。

フォーラム(SIG)

BBS派：情報の量や質はパソコン通信のほうが多いと思います。

IP派：パソコン通信のフォーラムは魅力的な情報源です。インターネットにも、NetNewsがありますが、管理者がいないせいか、ややノイズレベルが高い感じはします。

BBS派：パソコン通信では、管理者(SYSOP)が決められていて、きちっとジャンル分けと整理が行われています。必要な情報も、的確に見つかりますよ。

IP派：インターネットでも管理人がいるNetNewsもありますが、管理者の負担が大きくなるという問題がありますね。

BBS派：パソコン通信でも、管理者はかなり苦労しているようです。

IP派：そんなこともあって、情報が必要なときは、私もNIFTYなどを利用しています。ただパソコン通信は、インターフ

ェイスが悪いですね(笑)。

BBS派：インターネットには、UNIXやインターネット関連の情報はたくさんあるのでしょね。

IP派：それは言えます。反面、パソコン関係の情報は意外と少ない。それがユーザー層の違いと言ってしまえばそれまでですが…。

データのアップロードとダウンロード

BBS派：オンラインソフトの流通という役割をパソコン通信は担っています。

IP派：そこで思うのですが、パソコン通信のオンラインソフトには、どれだけソースコードが付いているかですね。

BBS派：うーん、それは少ないでしょう。

IP派：インターネットにあるソフトには、ソースコードの含有率が高いです。

BBS派：ソースがあれば、それだけ手を加えやすいことにはありますね。

IP派：よりよいソフトを作り上げていく過程にパソコン通信とインターネットには違いがあります。

BBS派：ソースコードを出す出さないは、それぞれのいわばカルチャーの違い

だと思うのです。インターネットでは使い手へのサービスになっても、パソコン通信ではどれだけ意味があるものか…。

IP派：通信料金もあり、ソースコードまでは必要ないということもありますね。

BBS派：いずれにしても、ソースコードまで欲しがらなかったことは確かです。

IP派：それとパソコン通信で難しいのは、必要なファイルを探し出すことではないでしょうか。またパソコン通信におけるファイルサイズも、インターネットユーザーが満足するかどうかはわかりません。

プロバイダーの登場で個人ユーザーも

BBS派：最近になって個人を受け入れるプロバイダーも増えてきましたが、以前はインターネットに個人を受け入れないという障壁がありましたね。

IP派：個人が入ってくるとどうなるかという問題がありました。当初は個人を受け入れる仕組みがありませんでした。それに常に接続されていることをインターネットが求めたこともあります。個人で常につなぐことは難しいですよ。

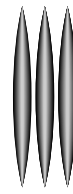
BBS派：個人や商用ネットが増えてくると、インターネットが育んできた文化が



パソコン通信

アクセスコストが金銭と技術の両面で少ない。
豊富なサービスが利用できる。
クレジットカードなどで決済が簡単。

パソコン通信派役 株式会社インプレス 出版一部デスク。
山下憲治氏 (パソコン通信歴7年(ニフティ、アスキーネット、MIX、草の根2つを利用)。本人は、アフター5から通信したいと思っているようだが、出版業は甘くない。)



後退するのではないのでしょうか。

IP派：インターネットに新しいテクノロジーを取り込めなくなるとい心配はしていません。最初にインターネットを作った人たちは、どんな環境になっても新しいテクノロジーを取り込んでいくポリシーを忘れてはいませんでした。

インターネットの課金方法は

BBS派：インターネットも、今後はきちっとお金を取る方向になってくるんじゃないですか。データが無料のままということは考えにくいです。

IP派：そうなっても問題はありません。後からビデオ・オン・デマンドの仕組みを加えても、プラスしていくことはできると思います。そうなったとき、インターネットはさらに新しいテクノロジーを模索していくでしょう。

BBS派：すべてが有料になると言っても、現状ではお金の取り方が成立していませんよね。

IP派：UNIXにログインすれば、だれがきたかわかるので、その後どこへ行っても認証はとれています。

BBS派：インターネットタイプの認証シ

ステムで、クレジットカードでショッピングできる例は少ないですね。

IP派：インターネットでも、パソコン通信のような方法がいいかもしれません。いずれにしても、認証をとるには、通信回線は弱いという面はあります。

BBS派：このあたりはパソコン通信が優位なところかな。

IP派：問題は暗号の部分です。暗号化されて鍵をもらえばソフトを使えるなんて簡単なんです。作っていくこと以上に政治的な背景もあったりして、かなり難しい状況にあります。

インターネットのマナーと法的な規制

BBS派：パソコン通信では、書き込みに対する名誉毀損などが問題になっています。インターネットでは責任者がいないと言われますが、このあたりも心配です。

IP派：電話で脅迫されたからと言ってNTTを訴えられません。インターネットをネットワークの1つと捉えれば、それは同じことです。ただ、統括するIABという組織があって、人や組織に対して警告する権限は持っています。

BBS派：今はメールで遊びの話題も行き

来していますが、会社で私用電話はよくないように、インターネットでも個人と仕事を切り分けることが必要ですね。

IP派：電話もプライベートとビジネスを明確に切り分けられないように、インターネットも同じようなところはありますね。

BBS派：それでもわからないのは、だれが料金を持つというところかなあ。

IP派：組織が集まって、それぞれにたぎ合ったということに尽きます。別々に回線を敷くよりも、互いにつながっていけば安いわけですよ。そうしてつなが合ったものがインターネットの姿です。

司会：こうしてご二人のお話をうかがっていると、いまはアクセスする環境も流れているデータにも違いはあるようですが、本質的な部分ではインターネットもパソコン通信も違いはないように感じました。すでに、パソコン通信とインターネットは同じプロトコルで話ができるようになっているわけですから、これから双方の進化が続けば、それぞれを区別する必要すらなくなるのかもしれませんが。どうもありがとうございました。

(司会：本誌編集長)



インターネット派
使う人たちが作ってきた。
新しいサービスを自由に作ることができる。
自分の仕事環境の延長に存在する。

インターネット派役 砂原秀樹氏 奈良先端科学技術大学院大学 情報科学センター助教授
電気通信大学情報工学科 助教授(併任)、WIDEプロジェクト・ボードメンバー。
日本のインターネット普及のために研究と後輩の指導に務めている。



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp